

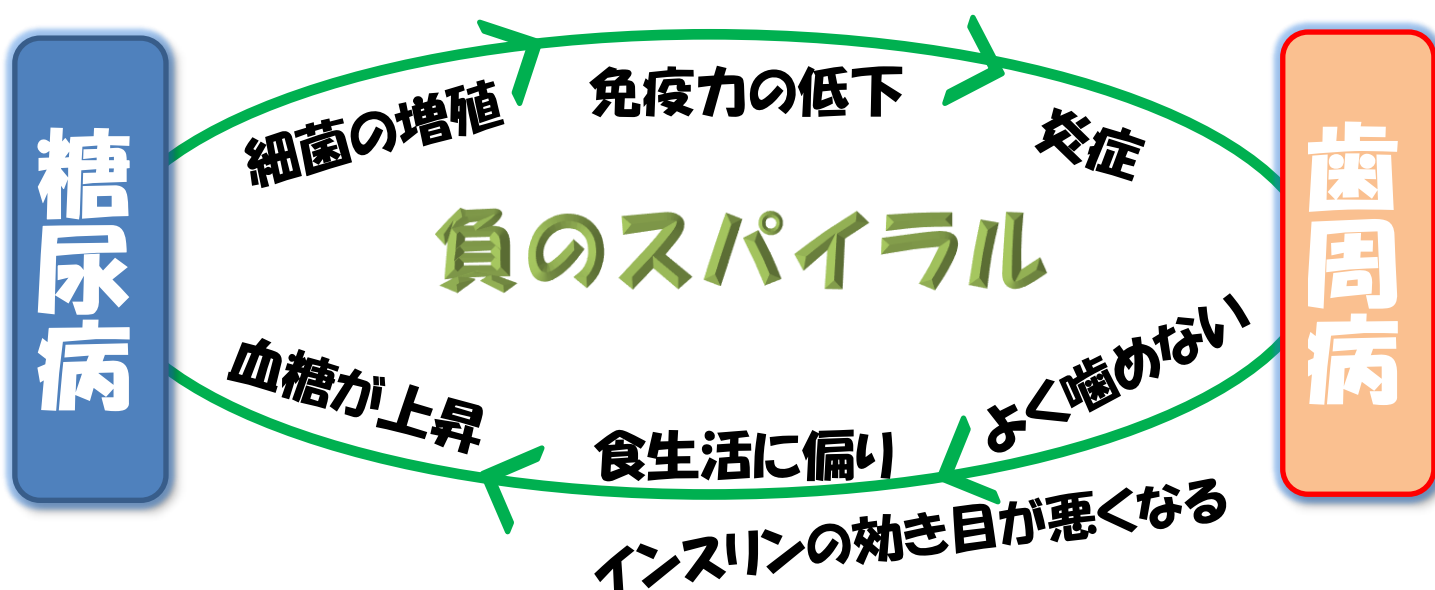
歯周病と糖尿病の危険な関係

歯周病とは？

歯周病とは、歯と歯を支える組織（歯周組織）におけるさまざまな病態の総称です。歯ぐきの腫れや出血から始まり、放っておくと、歯がぐらつき抜けてしまうこともあります。わが国では、中高年の8割以上がこの歯周病にかかっています。

歯周病と糖尿病の関係

糖尿病のある人は歯周病になりやすく、歯周病がある人は糖尿病の治療が困難になりやすくなります。この負のスパイラルを断ち切ることが重要です！



《あなたの歯周病チェック》

- 歯ぐきが赤くはれた部分がある
- 口臭が気になる
- 歯ぐきが痩せてきたみたい
- 歯と歯の間につまりやすい
- 歯磨きの時に血がでる
- 歯と歯の間の歯ぐきが丸くなっている
- 歯が浮いたように感じることもある
- グラついている歯がある
- 歯から膿が出たことがある



判定結果

☆チェックがない場合

これからもきちんと歯みがきを心がけましょう。少なくとも1年に1回は歯科健診を受けましょう。

☆チェックが1～2個の場合

歯周病の可能性があります。まず歯みがきの仕方を見直しましょう。念のため、歯科で確認してもらいましょう。

☆チェックが3～5個以上の場合

歯周病が進行しているおそれがあります。早めに歯科に相談しましょう。

歯の健康を保ち、より良い血糖コントロール